

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0024 堺市堺区向陵中町 2丁 5-10 杉本ビル 5-B・Tel: (072) 255-1200 番

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 PANTARON Tel: (072) 228-3988 番 (魚太郎直通電話)

URL : <http://www.sakai-kita.jp/>E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

ガバナー(第2640地区) 久保治雄 (クボ ハルオ)

ガバナー事務所 URL : <http://www.rid2640g.org/kubo/>E-mail : kubo-2013@rid2640.org

会長: 城岡陽志 幹事: 中川 澄 広報委員長: 池田茂雄 編集者: 綿谷伸一

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会

2014年6月6日(金)第1617回

「第4回クラブアッセンブリー」

今週の歌 「君が代」「奉仕の理想」

「バースディソング」

「歓迎の歌」

お客様の紹介

入会式 奥野 圭作 様

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○会員・奥様誕生祝い(6月度)

笹山悦夫会員(5日) 泉谷 順子様(9日)

○結婚記念祝い(6月度)

木畑 清会員(1日) 辰正 博会員(3日)

坂田兼則会員(4日)

前回の例会

2014年5月30日(金)第1616回

「テーブル会議」

今週の歌 「R-O-T-A-R-Y」

「今日の日はさようなら」

お客様の紹介

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

<5月30日(金)の出席報告>

会員数(会員31名・準会員1名) 32名

出席会員 20名

欠席会員 12名

ゲスト 0名

ビジター 0名

4月18日(金)の出席率 83.87%

次回の例会

2014年6月13日(金)第1618回

「会長退任の挨拶」



2013-14年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

国際ロータリー会長 ロンド・バートン(ノーマン・ロータリークラブ)

卓 話

「テーブル会議」

～地区の現状と今後について～

会長 城岡 陽志



私からまず、2640地区の問題につき経緯と現状についての報告をしたあと、山ノ内次年度会長にマイクを渡し、司会進行を託しました。

各会員からの質問に答え、また多くの意見を聞かせてもらいました。噂話やひそひそ話をするのではなく、一つのテーマとして取り上げ、みんなで議論することにより現状についての理解を深めていただくいい機会になったと思います。

早く正常な状態にもどればいいとは思いますが、残念ながらそれまでにはまだまだ紆余曲折を辿らなければならないでしょう。

地区の問題があるにしても、当クラブは当クラブとして活発にロータリー活動に取り組んで行かなければならないと思います。がんばりましょう。

会長の時間

会長 城岡 陽志

今日は私が好きな言葉、いつも肝に銘じている言葉を紹介します。

「コストダウンは企業の使命」

必ず成功する事業はないが、絶対に失敗する事業はある。それはコスト意識が低い事業だ。人材、技術、商品が優れていようが、高コスト体質で繁栄を続ける事業などあり得ない。無駄な費用が価格に転嫁され、それを最終的に負担するのはお客様だ。無駄のツケを負わせる。事業が支持されるわけがない。逆に無駄な費用を削れば、そのまま営業利益に反映される。すなわちコストダウンは最も効率の良い増益手段であり、顧客の信頼をも勝ち取れる事業の生命維持活動といえる。

松下幸之助さんは倒産は犯罪だと言っています。

社会に必要とされなくなると注文が減り倒産します。社会に必要とされる企業を作るのが経営者の使命です。

ロータリーもライオンズもメンバーが減ってきたのは、社会に必要とされていないからではないでしょうか。原点を見つめ直し反省する必要があると思います。

委員会報告

親睦活動委員会

親睦活動委員長 那須宗弘

「例会変更及び最終例会・親睦家族会のご案内」



1. 例会開催日時変更

6月20日(金)の例会は、6月21日(土) 午後5時30分

PANTARONに変更

2. 最終例会・親睦家族会

夏が間近に感じられる時期となりましたが、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本年度最終例会及び親睦家族会を下記の通り開催いたします。

どうぞお誘いあわせの上ご参加下さいますようお願いかたがたご案内致します。

記

日時 : 平成26年6月21日(土)

受付 午後5時 開会 午後5時30分

場所 : PANTARON

参加者 : 会員・準会員及びご家族・ファミリー会員

登録料 : 会員10,000円 家族8,000円 小学生以下 無料

☆出欠は6月6日(金) 例会時までにお返事下さい。

☆集金は6月13日(金) よりさせていただきます。



S A A 報告

那須宗弘会員 昨晚、花園大学の児童研究部に清心寮のボランティア頼んできました。

山ノ内修一会員 城岡会長、5月25日は有難うございました。助かりました。

城岡陽志会員 6月18日から90日の免許停止になります。会長が終わるのに合わせてくれています。しばらく謹慎して反省します。

嶽盛和三会員 明日、那須会員・宇瀬会員と私3名で出羽海襲名披露パーティに出席して参ります。

綿谷伸一会員 山ノ内会員、先日は白浜で大変お世話になりました。

藤永 誉会員 今日はゴミゼロの日です。ゴミはゴミ箱へ。

笹山悦夫会員 有意義な一年でした。善縁と善き人々に恵まれ感謝しています。皆さん有難うございました。

合 計 21,000円

幹事報告

(1) 本日の配布物 週報

テーブル会議資料

(2) 幹事報告

来週は第4回クラブアッセンブリーを開催いたします。今年度委員会委員長様はアッセンブリー報告書をクラブアッセンブリー終了後までに事務局に提出して頂けますようお願い申し上げます。

「 歓迎の歌 」

今日からは 同じ仲間
歯車の 胸に輝く 君と僕
共に進もう 手をとり合って
共に尽くそう ロータリーの道

5 月 度 例 会 風 景



5 月 度 奥 様 誕 生 祝 い
お め で と う ご ざ い ま す



5 月 度 結 婚 記 念 祝 い
お め で と う ご ざ い ま す



会 長 の 時 間



第 3 回 ク ラ ブ ア ッ セ ン ブ リ ー で の 一 コ マ

世界の“渴き”を癒す



ガーナ北部出身のブライマー・アバンバーさん。故郷の村は乾燥地帯にあり、慢性的な水不足に悩まされていました。水が足りないことで人びとも活気がなく、いつも村全体が停滞していたといいます。ある時、国際協力を通じて村に水ポンプや貯水池が設置されました。生活は見違えるほど改善され、人びとも活気が見られるように。

アバンバーさんは現在、米国ネバダ州の水研究機関「Center for International Water and Sustainability at the Desert Research Institute」でディレクターを務めています。5月30日に、水と衛生のロータリアン行動グループ(WASRAG)がシドニーで開催する世界水サミットでは、講演を行う予定です。今回は水問題について、アバンバーさんにお話を伺いました。

ザ・ロータリアン誌：水問題に取り組むようになったきっかけは？

「私の育ったズアルング村では雨があまり降りません。私は母や姉たちと毎日、6キロ離れた貯水池まで歩いて行って水を汲み、兄たちはそこまで牛を追って、水を飲ませなければなりません。この作業には相当の時間がかかりますから、学校に行く時間も限られます。私が12歳のとき、カナダ国際開発庁の支援で地元で2,600本の井戸が設置されました。村の生活は大きく改善され、私の母も水汲みの代わりに市場へ行って食べ物を売ることができました。私はその後、大学で地質学を学び、卒業後に給水システム設置の仕事をした後、カナダの大学院に留学し、最終的には米国のネバダ大学で水文学の博士号を取得することができました」

世界の水問題はどれほど深刻なものでしょうか？

「世界では現在、7億4,000万人が、井戸や水道のない生活を送っています。また20億人が、安全な飲料水を得られません。子どもの病気の推定88パーセントは汚染された水や不衛生によるもので、そのうち毎日5,000人の子どもたちが亡くなっています」

新しいテクノロジーが水問題の解決に役立っているそうですね。

「最近では、携帯電話やインターネットを活用して、水システムのモニタリングが行われています。また雨水を利用した新しい灌漑技術も注目を集めています。しかしこうしたテクノロジーや技術を取り入れる一方で、衛生教育もしっかりと進めることが大切です。安全な水が使えるようになって、住民が衛生に関する正しい知識をもっていなければ、水源が再び汚染されてしまいます。汚染された水と病気との関係を、人びとが理解しなければなりません」

WASRAGのような団体とのパートナーシップはどれほど重要ですか？

「先進国では、きれいな水がふんだんに使えて当然という認識が一般的です。例えば米国では、1人が1日に使う水の量は380リットル。シャワー、飲み水、庭の水まきなどにそれだけの水を使っているのです。蛇口をひねればすぐにきれいな水が出てくる地域では、水を無駄遣いしているとは思ってもよらないでしょう。一方、アフリカでは1人が1日に使う水の量は19リットル。しかし実際にそれほど多くの水を得られる人は少なく、水があっても汚染されているという状況です。私はこれまで、ロータリアンが現地の人びとの知識やスキルを向上させたり、水を中心とした支援プロジェクトを展開するのを見てきました。WASRAGもその土地に合った技術やテクノロジーを使い、現地の人と協力しながら優れたプロジェクトを行っています。ロータリアンは各地で影響力を持つ人たちですから、そのロータリアンが活動すれば、人びとの関心も集まります。また最貧国で一番ニーズの高い地域のために働きかけてくれているのもありがたいことです」

(ザ・ロータリアン誌 2014年5月号からの抜粋)